

## あのね、保育の根 No.2

～ふくえんちょうのおたより編～



### ～わたしの自己紹介から～

今年度より、園長の命を受けおたよりに参戦することになりました。副園長の内田健一です。まずは、副園長って誰?!…となるかなと思うので、簡単に自己紹介させていただきます。「釣り大好き」「1児の父」「事務所でメガネをかけている大きい先生」です。園長先生や主幹教諭のみほ先生とは異なり、とてもとても認知度が低いかなと思っております…。(笑)最年長にも関わらず、「大きくて怖い」と園長やみほ先生にいじられておりますが、話してみたら意外と…ということもあるかな(あったらいいな)と思いますので、声を掛けてくれたら嬉しいです! よろしく願いいたします。

### ～こどもの不安とおとなの不安～

新学期が始まり1か月が経とうとしていますが、こども達はまだまだ新しい環境やお部屋の先生が変わったこと等の環境の変化により、おとなの想像以上に不安を抱えているかと思えます。登園時に保護者の方と離れるときに「ママがいい～」「一緒に帰る～」と泣く姿や家に帰ると疲れてぐったりといった姿が見られ、保護者の方もこどものそんな姿に心苦しいかと思えます。

私自身も3歳の息子がおり、今年度より小規模保育園から新しい保育園への転園となり、ここ最近、毎晩寝かしつけの際に「明日はおやすみ? 保育園やだあ」と涙をぽろぽろと流しています…。正直、親としては「明日はお休みしよう」と言ってあげたいのですが、そうもいかなのが現実で「保育園で1日中泣いているのだろうか?」「先生や友達と遊んでいるのだろうか?」と不安になることもあります。(かと言って、仕事は休めないなので息子に「ごめんね」と思う毎日です…。)

私自身、保護者の皆様のお子さまをお預かりする立場ではありますが、子を持つ父でも

あります。だからこそ、こどもの不安もおとなの不安も理解しているつもりです。不安を全て無くすことは正直難しいことかもしれませんが、和らげることは私たちの一つの役割だと考えます。

初めて親から離れ、見知らぬ他人の中で長時間生活することの不安。そして新しい生活環境に切り替わり、「先が見通せない」という、何が起るかわからないという予測できないことの不安。こどもにとっては、大きな不安の要因です。だからこそ、いつも同じ人がお世話をしてくれる、自分の気持ちをわかってくれるといったこどもにとっての安全基地となる保育者との信頼関係を築いていくこと。そして、「先が見通せる生活」のもとになるのが「安定した日課(生活の流れ)」次に「秩序のある生活」が大切です。そしてなにより考えなくてはならないのは「家庭的である」ということ。こども園は生活を教えていく施設や訓練する場所ではないこと。こどもにとって信頼のあるおとなと安心して過ごせる場所であることを願いたい。

保護者の皆様にとっては、見えないことの不安があるかと思えます。だからこそ、「保育の見える化」は急務かと考えております。こどもの成長を共に見守り支えていきたいからこそ、園の姿を発信し、家庭での姿に耳を傾ける。保護者の方との小さな対話を重ね共有していきたい。互いの思いを知り、共にこどもを見ていくことが少しでもおとなの不安を和らげることに繋がるのではと思います。また、賛否はあるかとは思いますが、実際にこども園に足を運んでいただき、日常と一緒に過ごす機会を得られたらと考えております。

まだまだ書きたい事、伝えたい事は山ほどありますが、何ページにもなってしまいそうなので(笑)、今回はこの辺で終わりにします。今後ともよろしくお願いいたします。

・おしまい・